

プラント状況確認結果(平成26年11月18日～11月25日)

平成26年 11月 25日
福島県原子力安全対策課

- 平成26年11月18日～11月25日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ 1号機において、使用済燃料取り出しに向けたガレキ撤去作業を進めるため、平成26年10月22日7時08分から原子炉建屋カバーの解体に向けた作業を開始しました。詳細はこちらをご覧ください。

(1) プラント状況 (11月25日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.5	4.4	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<u>22.7</u>	<u>29.1</u>	<u>27.7</u>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³) (A系)	8.66 × 10 ⁻⁴	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系) (体積%)	0.05	0.07	0.08	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	17.0	16.4	14.2	13.2

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (11月25日午前10時)

最小 1.227 (MP-6) ～ 最大 3.953 (MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒ [計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果 (11月24日採取分)

最小 検出限界未満(6号機取水口前) ～ 最大 26(4号機スクリーン) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果 (11月24日採取分)

5,6号機放水口北側に30m : 検出限界未満 ※検出限界値は0.76 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3 km : 検出限界未満 ※検出限界値は0.72 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果 (11月24日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約1 × 10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果 (11月24日採取分)

最小 検出限界未満(3号機) ～ 最大 0.17(2号機) Bq/cm³

(問い合わせ 024-521-1917)